学校番号	3032B

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	1	第２学年 後期(地域)	・Power On English Communication Ⅱ（東書） ・Data Base 3300（桐原書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語の４技能５領域である、聞くこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、読むこと、書くことに関する総合的学力をつける授業です。英語に親しみを持ち、様々な課題に積極的に取り組んで学習する姿勢が求められます。外国語の習得には授業時間だけでなく日常的な意識と努力がとても重要です。一年生よりもさらに発展的な英語にもチャレンジしてみましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・基本的な語彙と表現を使い、決まった表現で話された事柄についての概要を理解することができる。 ・授業内の指示を概ね理解することができる。 ・簡単な質問を適切に聞きとることができる。	・基本的な語彙と表現を使用した日常生活の身近な英語の意味を理解することができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・短い文の概要を理解することができる。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる身近な単語に加えてよくつかわれる単語発音できる。 ・英語を使った簡単なやり取りができる。 ・身近な事柄についてやり取りの中で簡単な説明をすることができる。	・基本的な語彙と表現を使い、日常生活や身近な話題に関するスピーチができる。 ・自分の興味関心を簡単な英語を使って表現できる。 ・身近な事柄について状況に応じた簡単な意見や印象を話すことができる。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる単語を正確に書くことができ、自らの書く文章に使用することができる。 ・簡単な語を使用して、身近な事柄についての短い文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	音声、句読法、文法事項、語彙、慣用表現など、英語の決まりや特徴を理解習得して、これまでの学習成果を基本として、復讐を交えつつ、実際の場面に即して適切に運用する。	日常的な話題や社会的な話題に関して、与えられた情報・事柄の要点や話し手の意図を理解し、自分の考えや感想を、英語で適切に表現することができる。	日常的な話題や社会的な話題に関して、文化的背景を理解し、自分の意見や感想を交え、事柄の要点を理解し、自ら主体的に発話したり、対話したり、文章を作成することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
後期	Lesson 4 日本・海外の自販機について	聞くこと	a: 英語の発音の特徴を聞き取ることができる。 b: 本文の概要を聞き取ることができる。 c: 本文の全体説明を聞き取ることができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 正しい読み方でフレーズリーデイングができる。 B:　本文の内容を読み取ることができる。 c: 日本と海外に分けて要点と趣旨を読み取ることができる。	単元テスト
		話すこと（やり取り）	a: 正しく音読・伝えるための抑揚をつけることができる。 b:　自販機の必要性について話し合うことができる。 C：日本と海外に分けて要点と趣旨をまとめて発表できる	スピーキングテスト・プレゼンテーション
		書くこと	a: 関係詞を使った英文を書くことができる。 b: 海外のユニークな自販機の記事をまとめて書くことができる。 c:　海外の自販機について自分の意見を作成できる。	単元テスト
	Lesson5 ユニバーサルデザイン	聞くこと	a: エッセイの構成を理解して聞くことができる。 b: ブレイルノイエの開発について聞き取ることができる。 c: 聞き取った内容を表現につなげるためのメモをとる	リスニングテスト
		読むこと	a: エッセイの概要を読みとることができる。 b: ブレイルノイエの開発について考え読みとることができる。 C: その経緯と利点・可能性に意見を持ちながら本文を読む。	単元テスト
		話すこと（発表）	a: 概要をまとめて発表することができる b: ブレイルノイエの開発について発表することができる。 c: その経緯と利点・可能性についての自分の意見を発表することができる。	スピーキングテスト・プレゼンテーション
		書くこと	a: 概要説明のための原稿を作成する。 b: ブレイルノイエの開発のまとめを作成する。 c: その経緯と利点・可能性についての自分の意見の発表原稿をつくる	単元テスト
	Lesson 6 キャッシュレス社会	聞くこと	A:本文の内容を聞き取ることができる。 B :インタビューの趣旨を聞き取ることができる。 C: 聞き取った内容を表現につなげるためのメモをとる	リスニングテスト
		読むこと	a: 本文の内容を音のつながりを意識しながら正しい発音で読み上げることができる。 b: インタビューの趣旨を読みとることができる。 c: 自分の意見を持ちながら本文を読みとることができる。	単元テスト
		話すこと（やり取り）	a: 本文の内容をまとめた発表ができる。 b: 必要な情報を要約し、話し合うことができる。 c: インタビュー形式の対話をやってみる。	スピーキングテスト・プレゼンテーション
		書くこと	a: 本文のまとめの発表原稿を作成することができる。 b: 話し合いを要約して発表原稿を作成することができる。 c: インタビュー形式内でのメンバーの発言の要約をする	単元テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度